

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	Investigation of 2nd look after endoscopic gastric submucosal dissection
研究機関名	金沢医科大学（病院）
研究責任者	金沢医科大学（病院） 消化器内視鏡科 小豆澤 定史
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022 年 3 月
対象者	早期胃癌患者で、2008年4月から2021年3月までの間に当科にて内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)をおこない、2nd lookをおこなった患者
当該研究の意義・目的	早期胃癌における内視鏡的胃粘膜下層剥離術（ESD）は全国的に普及しており、標準的な治療となっています。しかし、処置時間が長くなることもあり、熟練した技術を要する手技であります。偶発症も一定の割合で起こり得ます。特に、後出血もしばしば遭遇し内視鏡的止血術が必要となる場合があります。昨今の諸家の検討では、ESD後の2nd look（ESD後翌日に上部消化管内視鏡検査にて、ESD後潰瘍底を確認）は不要との報告も目にするが、当科大学病院であり相対的もしくは適応拡大病変のESDを施行することが多く、また抗凝固、抗血小板剤使用例のESDを施行するケースも多いため、翌日の2nd lookの必要性について検討します。また併存疾患別にESD後潰瘍の状態についても検討します。
方法および研究で利用する試料・情報について	この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。電子カルテ参照し、上記期間中に得られた年齢、性別、ESD検体標本、治療部位、病変の深達度と組織型、抗凝固及び抗血小板剤の使用歴、併存疾患、ESD後潰瘍底の内視鏡画像等を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	外部への資料・情報の提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学（病院） 消化器内視鏡科 小豆澤 定史 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（5242）

作成日： 2021 年 06 月 22 日